

# 平成28年度第1回 岡山県急性心筋梗塞等医療連携体制検討会議

日 時:平成28年7月13日(水)

18:00~19:30

場 所:ピュアリティまきび2階「ルビー」

## 次 第

### 1 開 会

### 2 議 題

(1) 急性心筋梗塞医療連携パス(安心ハート手帳)の検証

(2) 心不全パス策定について

### 3 その他

### 4 閉 会

## 岡山県急性心筋梗塞等医療連携体制検討会議設置要綱

### (目的)

第1条 岡山県保健医療計画に基づき、急性心筋梗塞等の急性期・回復期・在宅等における継続的な診療や服薬、運動等の生活指導など、患者が安心できる生活を支援するため、心筋梗塞医療等に関わる多職種協働による医療提供体制を整備することを目的とした、岡山県急性心筋梗塞等医療連携体制検討会議（以下「検討会議」という。）を設置する。

### (所掌事項)

第2条 検討会議は、急性心筋梗塞等の医療に係る次の事項について協議する。

- (1) 地域連携クリティカルパスに関する事。
- (2) 疾病の経過等に応じて医療機関に求められる医療機能等の具体的な要件に関する事。
- (3) 連携の推進状況を把握するための指標（目標とする指標を含む。）に関する事。
- (4) その他急性心筋梗塞等の医療推進に必要な事項。

### (組織)

第3条 検討会議は、委員17名以内で組織する。

2 委員は、医療関係者、消防関係者等で構成する。

### (会長及び副会長)

第4条 検討会議に、会長1名及び副会長1名を置き、委員の中から互選する。

2 会長は、検討会議を代表し、会務を総括する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

### (任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし再任は妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (会議)

第6条 検討会議の会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

### (部会)

第7条 検討会議は、必要に応じて、部会を設置することができる。

### (意見の聴取)

第8条 検討会議は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その説明を受け、又は意見を聴くことができる。

### (庶務)

第9条 検討会議の庶務は、岡山県保健福祉部医療推進課において処理する。

### (雑則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、検討会議の運営等に関し必要な事項は、会長が別に定める。

#### 附 則

この要綱は、平成22年 1月20日から施行する。

#### 附 則

この要綱は、平成24年 7月 2日から施行する。

#### 附 則

この要綱は、平成27年10月22日から施行する。

#### 附 則

この要綱は、平成28年 4月 1日から施行する。

岡山県急性心筋梗塞医療連携体制検討会議 委員名簿

氏名	所属・職名	選定理由	備考
石尾正紀	日本健康運動指導士会岡山県支部 支部長	日本健康運動指導士会 岡山県支部推薦	
伊藤浩	岡山大学大学院 循環器内科教授	県南東部主要病院	会長
上村史朗	川崎医科大学附属病院 循環器内科部長	県南西部主要病院	
大森一弘	岡山大学病院 歯周科講師	歯科学識経験者	
岡岳文	津山中央病院 循環器内科部長	県北部主要病院	
小笠原加代	岡山県薬剤師会 副会長	岡山県薬剤師会推薦	
門田一繁	倉敷中央病院 循環器内科主任部長	県南西部主要病院	副会長
川井睦子	岡山県備北保健所 所長	岡山県保健所長会推薦	
佐藤哲也	総合病院岡山赤十字病院 循環器内科部長	県南東部主要病院	
田中茂人	岡山県医師会 理事	岡山県医師会推薦	
中務治重	岡山県病院協会 副会長	岡山県病院協会推薦	
平井康子	岡山県看護協会 常務理事	岡山県看護協会推薦	
細川優	国立病院機構岡山医療センター 栄養管理室長	岡山県栄養士会推薦	
宗政充	国立病院機構岡山医療センター 循環器科医師	県南東部主要病院	
山本桂三	心臓病センター榊原病院 副院長	県南東部主要病院	
湯口聡	心臓病センター榊原病院リハビリテーション室 技士長	岡山県理学療法士会推薦	

(五十音順)

平成28年度第1回 岡山県急性心筋梗塞医療連携体制検討会議 出席者名簿

(委員)

所 属・職 名	氏 名	備 考
日本健康運動指導士会 岡山県支部長	石 尾 正 紀	
岡山大学病院 循環器内科教授	伊 藤 浩	
川崎医科大学附属病院 循環器内科教授	上 村 史 朗	
岡山大学病院 歯周科講師	大 森 一 弘	
津山中央病院 循環器内科部長	岡 岳 文	
岡山県薬剤師会 副会長	小笠原 加 代	
倉敷中央病院 循環器内科主任部長	門 田 一 繁	
岡山県備北保健所 所長	川 井 睦 子	
岡山赤十字病院 循環器内科部長	佐 藤 哲 也	
岡山県医師会 理事	田 中 茂 人	
岡山県病院協会 副会長	中 務 治 重	
岡山県看護協会 常務理事	平 井 康 子	欠 席
岡山県栄養士会 国立病院機構岡山医療センター 栄養管理室長	細 川 優	
国立病院機構岡山医療センター 循環器科医師	宗 政 充	
心臓病センター榊原病院 副院長	山 本 桂 三	
岡山県理学療法士会 心臓病センター榊原病院 リハビリテーション室技士長	湯 口 聡	

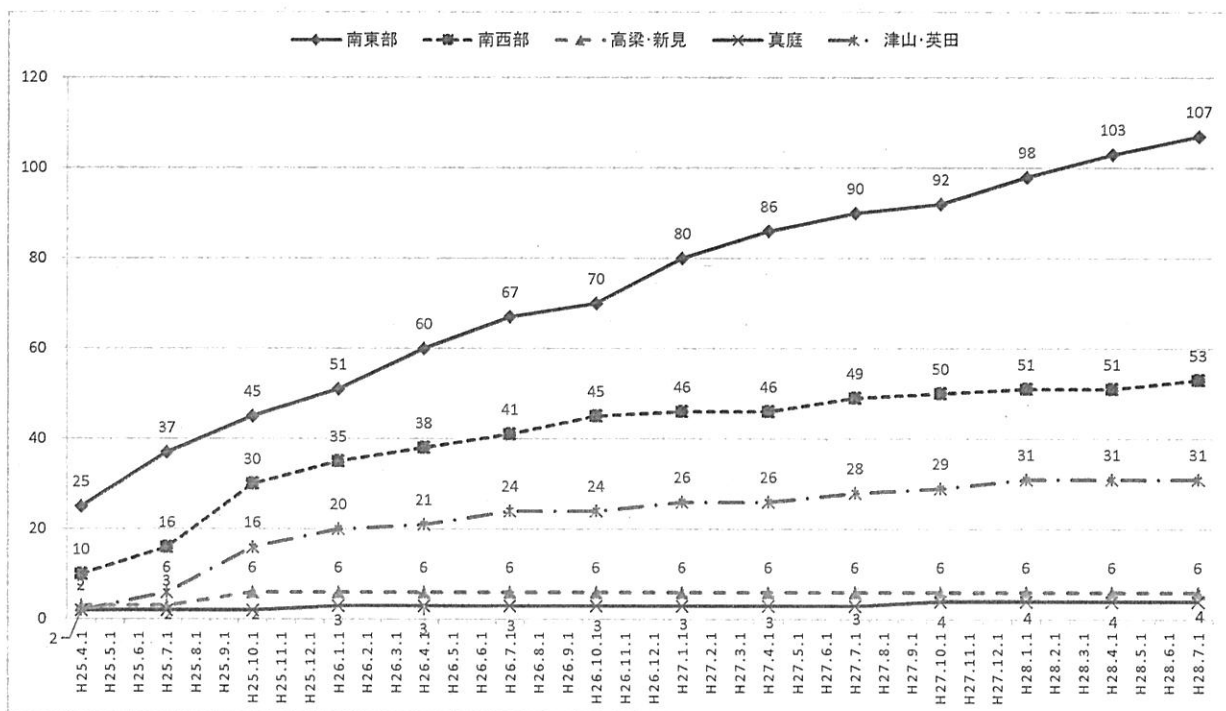
(委員五十音順)

(事務局)

岡山県保健福祉部医療推進課 課 長	則 安 俊 昭	
” 総括副参事	高 原 典 章	
” 主 任	大 原 佳 央 里	
” 主 任	熊 谷 みゆき	

### 急性心筋梗塞医療連携パス 届出医療機関数の推移

	H25.4.1	H25.7.1	H25.10.1	H26.1.1	H26.4.1	H26.7.1	H26.10.1	H27.1.1	H27.4.1	H27.7.1	H27.10.1	H28.1.1	H28.4.1	H28.7.1
南東部	25	37	45	51	60	67	70	80	86	90	92	98	103	107
南西部	10	16	30	35	38	41	45	46	46	49	50	51	51	53
高梁・新見	3	3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
真庭	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4
津山・英田	2	6	16	20	21	24	24	26	26	28	29	31	31	31
計	42	64	99	115	128	141	148	161	167	176	181	190	195	201



### 安心ハート手帳アンケート調査 回答内容の推移

急性期病院	H25年度 上半期	H25年度 下半期	H26年度 上半期	H26年度 下半期	H27年度 上半期	H27年度 下半期
急性心筋梗塞による 入院患者数	414	450	419	444	399	489
パス利用件数	119	230	201	193	217	234
(うち院外紹介)【A】	89	179	168	140	157	155

かかりつけ医療機関	H25年度 上半期	H25年度 下半期	H26年度 上半期	H26年度 下半期	H27年度 上半期	H27年度 下半期
調査対象医療機関数	83	112	133	151	163	179
回答医療機関数	79	71	78	103	105	129
パス利用医療機関数	18	18	20	16	20	25
パス利用件数【B】	21	31	25	25	39	33

パス運用率 (【B】／【A】×100)	23.6%	17.3%	14.9%	17.9%	24.8%	21.3%
------------------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

※【A】と【B】の機関は必ずしも一致しない

## アンケート結果 &lt;急性期病院&gt;

回答医療機関数 施設（届出医療機関数 施設）回収率：100%

（平成27年10月1日～平成28年3月31日の実績）

医療機関名	問1	問2	問3		問4	問5
	急性心筋梗塞による入院患者数（人）	うちバスの適応症例者	問2で「いた」を選択した場合のバス利用度及び件数		バスを利用しなかった理由	その他
岡村一心堂病院	1人	いない			当日死亡されたため	使用していないため不明
岡山医療センター	30人	いた	全員が利用	30人 （院外紹介28人）		フンサイズ小さいものも（A5版）作成されているので運用しています
総合病院岡山協立病院	7人	不明				
岡山済生会総合病院	4人	いた	無し		心臓リハビリテーション担当医の退職に伴い、調整役が不在になった。今年度は新規に赴任した医師が担当をするため、利用が増えると想定される	
岡山市立市民病院	17人	いた	全員が利用			
岡山赤十字病院	39人	いた	一部が利用	38人 （院外紹介16人）	1例は死亡退院のため渡せていません。	
岡山大学病院	8人	いた	一部が利用	7人 （院外紹介5人）	転院したため	
岡山ハートクリニック	29人	いた	無し		忙しくて手が回らなかった 今年の7-8月頃から再開をする予定	
岡山労災病院	14人	いた	全員が利用	12人 （院外紹介3人）		
心臓病センター榊原病院	106人	いた	一部が利用	23人 （院外紹介23人）	安心ハート手帳のことを知らなかった	血圧・体重を記録する手帳が2冊目3冊目と必要な方のために継続してお渡してできるよう、記録だけの手帳があればと思います。
川崎医科大学附属病院	63人	いた	全員が利用	17人 （院外紹介7人）		今回よく改善されております
倉敷中央病院	134人	いた	全員が利用	76人 （院外紹介73人）		
津山中央病院	37人	いた	一部が利用	31人	患者の理解が得られなかった 県外の方だった	サイズは小さくなって良かった 今まで安心ハート手帳を管理していた看護師の配置変更にて運用がバタバタした
合計	489人			234人 （院外紹介155人）		

参考比較用 前回調査

アンケート結果 <急性期病院>

回答医療機関数11施設（届出医療機関数13施設） 回収率：84.6%

（平成27年4月1日～平成27年9月30日の実績）

医療機関名	問1	問2	問3		問4	問5
	急性心筋梗塞による入院患者数(人)	うちバスの適応症例者	問2で「いた」を選択した場合のバス利用度及び件数		バスを利用しなかった理由	その他
岡村一心堂病院						
岡山医療センター	16人	いた	全員が利用	16人 (院外紹介15人)	—	A5版の作成
総合病院岡山協立病院	2人	いた	全員が利用	2人 (院外紹介0人)	—	—
岡山済生会総合病院						
岡山市立市民病院	13人	いた	全員が利用	13人 (院外紹介7人)	—	—
岡山赤十字病院	26人	いた	一部が利用	25人 (院外紹介18人)	・当院で外来フォロー(当院、他科受診があるため)4名 ・CABGで転院 1名 ・リハビリ目的で転院 2名	—
岡山大学病院	6人	いた	一部が利用	3人 (院外紹介3人)	・患者の理解が得られなかった ・患者が入院中に死亡した	・記録手帳の血圧記入欄が小さいので、高齢の方は書きにくいのでは？ ・見開きの1ページを2週間分にし、体重グラフを血圧グラフへ変更してもよいかも。 ・A5版希望。
岡山ハートクリニック	19人	いた	無し		忙しくて手が回らなかった。	—
岡山労災病院	18人	いた	全員が利用	15人 (院外紹介7人)	—	—
心臓病センター榊原病院	89人	いた	一部が利用	21人 (院外紹介21人)	・安心ハート手帳の院内での周知不足 ・医師の指示忘れ	・手帳を何度も開く(使用する)と、閉じ穴周囲が破れやすい印象。 ・新規ページについて、ダウンロードしてプリントアウトすることを、できない患者が多い。
川崎医科大学附属病院	60人	いた	全員が利用	21人 (院外紹介7人)	・忙しくて手が回らなかった。	電子カルテなどで共有できるシステムだと病院間では運用しやすい。ただ患者が理解するのに時間が必要かも。
倉敷中央病院	95人	いた	全員が利用	63人 (院外紹介62人)		手帳が大きいという意見があります。
津山中央病院	55人	いた	一部が利用	38人 (院外紹介17人)	・忙しくて手が回らなかった。 ・県外在住患者だった。 ・他病棟患者等、患者把握ができていなかった。	—
合計	399人			217人 (院外紹介157人)		

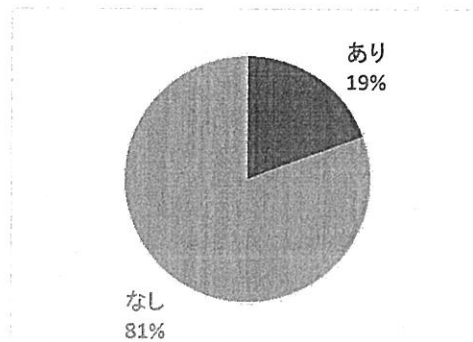
## アンケート結果 <かかりつけ医療機関>

回答医療機関数129施設(届出かかりつけ医療機関数179施設) 回収率:72.1%【64.4%】

問1 貴医療機関で「安心ハート手帳」の利用がありましたか。

- |      |         |
|------|---------|
| 1 有り | 25医療機関  |
| 2 無し | 104医療機関 |

「有り」とした25医療機関のうち、  
前回の調査でも利用があった  
医療機関  
・・・12医療機関



問2 問1で「1 有り」を選択した方にお聞きます。

- ・パス利用件数 33件(25医療機関) 【39件(20医療機関)】
- ・連携した急性期病院
- 岡山赤十字病院 : 4件(4医療機関) 【4件(3医療機関)】
- 心臓病センター榊原病院 : 6件(6医療機関) 【4件(4医療機関)】
- 倉敷中央病院 : 20件(13医療機関) 【29件(11医療機関)】
- 津山中央病院 : 3件(2医療機関) 【2件(2医療機関)】

問3 「安心ハート手帳」について、何かお気づきの点がございましたら自由にご記入ください。

<主な意見>

### 【パスの利用があった医療機関】

- ・サイズが適当で良くなった(同様の意見複数)
- ・働き盛りの方には特に導入時に強い自覚を持っていただく必要があると思うが、患者さんも少しずつ学習されたのでハート手帳は大変有効であると思われる
- ・ハート手帳に記載することにより、患者と医師との連携が少しでもとれ、意味があると思われる。
- ・患者様は安心手帳を受診時にあまり持って来ない。今後さらに指導する。
- ・あまり有用とは思えない

### 【その他の医療機関】

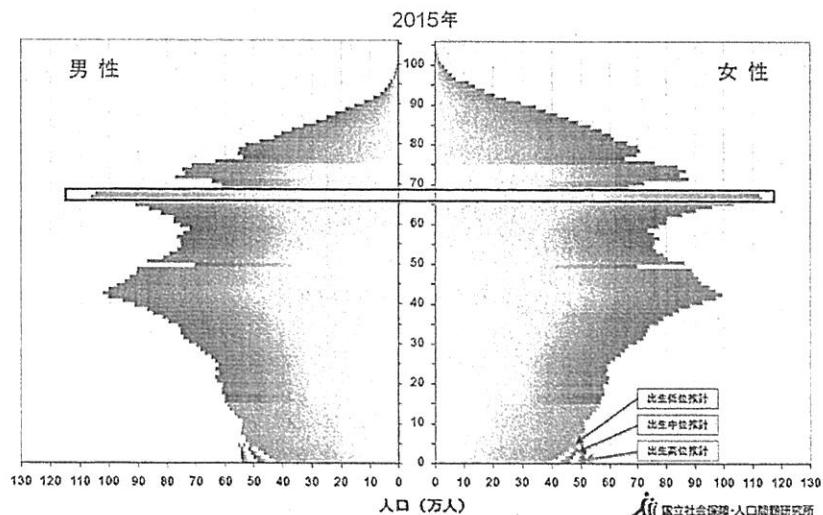
- ・利用がない、患者さんが持参しない(複数回答)
- ・急性期医療機関の積極的活用を期待する
- ・やりとりは紹介状等でもするので、記入が煩雑と思われる
- ・手帳をみると病態がよく把握できて良い
- ・小型化して携帯に便利になっている様感じる
- ・手帳サイズが大きい(複数回答) ←サイズ変更したことが、あまり知られていない。
- ・安心ハート手帳がA5版になったのは良かった。冠動脈疾患～上手に付き合うために～A5版にしたらいのでは。
- ・3年経過してまだ見たこともないと言う診療所が多いかと思う。実際の運用例を参考に改めて研修会等を開催してみてもどうか。



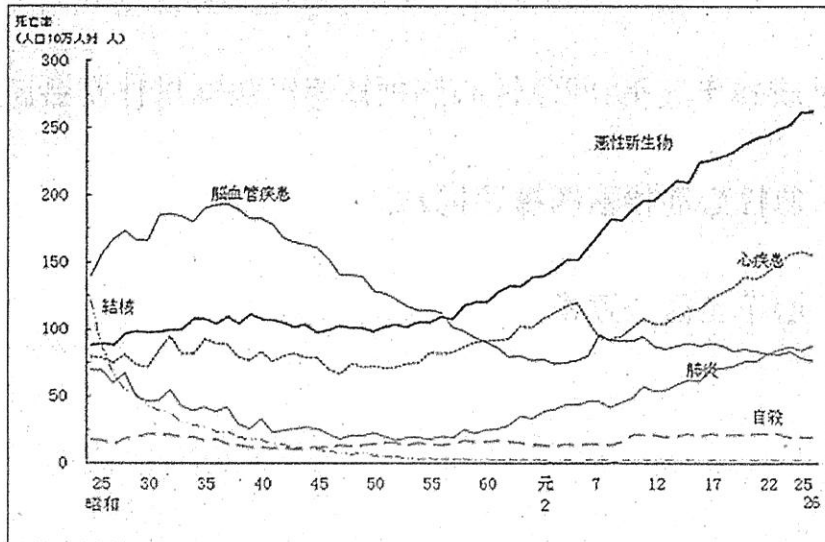
## 平成28年度第1回急性心筋梗塞等医療連携体制会議

- 急性心筋梗塞医療連携パス
- 心不全医療連携パス

## 2025年問題: 団塊の世代が後期高齢者に



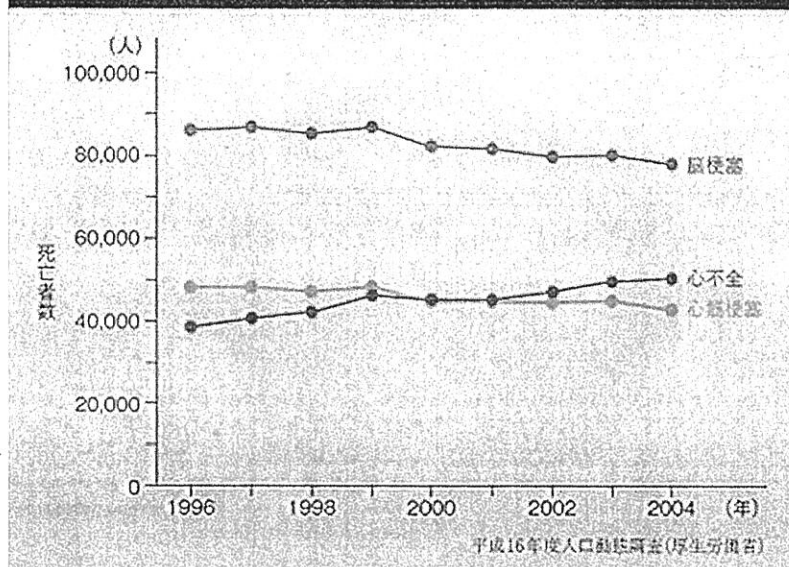
## 死因別死亡数:臓器別では心臓が1位



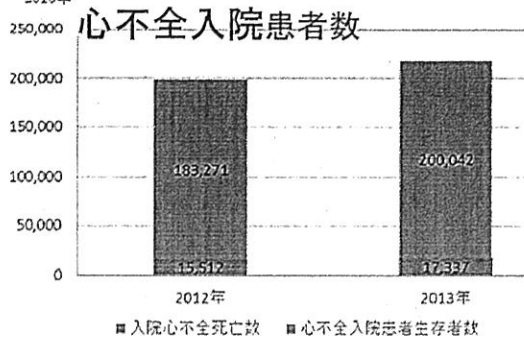
平成26年 人口動態統計

## 心筋梗塞よりも多い心不全死

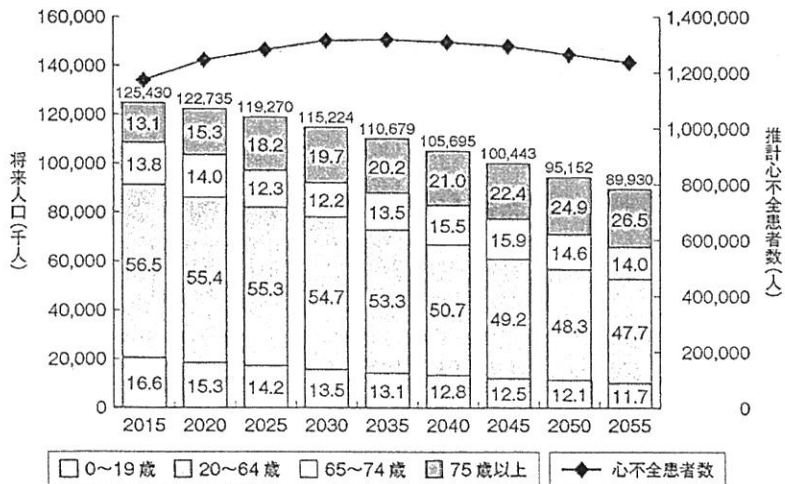
図1 日本人の主な心血管病の死因—死亡数の年次推移



### 心筋梗塞よりも多い心不全入院



### 人口が減少しても増加する心不全



## 心不全治療の問題点

- 今後も増え続ける心不全患者。
- 原疾患により重症度がまちまち
- 繰り返す入院による医療コスト上昇。
- フレイルの原因となり、健康寿命を短縮させる。
- 在宅、施設での生活習慣の改善が難しい。  
(塩分制限、定期的服薬、体重チェックなど)
- 心不全を診る“かかりつけ医”が少ない？。

## 心不全連携パス

倉敷中央病院が作成した心不全パスを利用  
させていただく(使用許諾済)

かかりつけ医、医療スタッフ向け説明パンフレット  
できるだけ短く、平易に(10ページ以内)

医療関係者向け説明会

市民向け講演会

## 心不全連携パスWG

倉敷中央病院	多田 毅
心臓病センター榊原病院	吉田 俊伸
岡山赤十字病院	斎藤博則
岡山市民病院	小野 環
津山中央病院	岡 岳文

10月をめどにWGで形を作った上で検討会議  
(もしくはメール)で修正していく予定です

#### 第4回 岡山ハートフルウォーキングについて

主催：地方独立行政法人 岡山市立総合医療センター（当番病院）

日時：平成28年10月16日（日）午前中開催 2時間半程度  
小雨決行、雨天中止

参加者：スタッフ50名、参加者50名の予定  
患者+家族で50名

場所：岡山市街地（仮確定）

後楽園から県庁周辺まで南下し、後楽園外周を歩くコースを予定。  
最後は後楽園の中を散策（許可が下りるか後楽園事務所に照会中）  
およそ5キロのコース